JFEグループの業績概況

JFEグループは、企業理念である「常に世界最高の技術をもって社会に貢献する」ことを通じて、企業としての持続的な成長を図り、株主の皆様をはじめすべてのステークホルダーにとっての企業価値の向上に努めてきました。

2009年度の経営成績

2008年来の世界規模での急激な景気後退局面では、グループをあげて緊急コスト削減などに迅速かつ徹底的に取り組みました。またJFEスチールにおいて高炉2基を休止するなど、需要に見合った生産・販売を徹底しました。他方、経済回復基調にあるアジア新興国では、その需要をいち早く取り込み、高級鋼の輸出を増やすことに注力しました。その結果、当期の損益につきましては、依然として厳しい経営環境が続くなかではありますが、グループ全体として経常黒字を確保することができました。

2009年度の連結業績は、売上高は2兆8,443億円、営業利益は887億円、経常利益は692億円と前期に比べ減収・減益となりました。また、特別損益は16億円の利益となり、連結での税金等調整前当期純利益は709億円、連結当期純利益は456億円となりました。

当社グループは株主への利益還元を最重要経営課題の一つと考えており、グループ全体として持続性のある企業体質の確立を図りつつ配当を実施していく方針としています。

具体的には配当性向（連結ベース）を25%程度とすることを基本として検討することとしていますが、2009年度以降については、引き続き株主還元を最重要経営課題の一つと位置付けつつも、世界経済の先行きに不透明感が増していること、また、将来の飛躍のための積極的な投資も視野に入れる必要があることから、当面の方針としては、当社グループの健全な財務体質の維持・改善を優先して考えていきます。

上記の基本方針をふまえ、当期の配当につきましては、期末配当を1株当たり20円（年間20円）としました。

経営成績（連結）　（億円）

	2008年度	2009年度
売上高	39,082	28,443
営業利益	4,078	887
経常利益	4,005	692
ROS	10.2%	2.4%
当期純利益	1,942	456
1株当たり配当金	90円	20円

売上高
2兆8,443億円

経常利益
692億円

事業環境・対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境は、国内需要の回復が期待できないなかで、原材料価格が高騰するなど、引き続き厳しい環境が続くと予想しています。今後、拡大が予想されるアジアでの需要をいかに取り込んでいくかがJFEグループ成長の鍵になると考えており、事業環境を見極めながら、成長戦略に果敢に挑戦していきます。

拡大する海外マーケットを確実にタイムリーに捉えるために、販売力の強化、既存アライアンスの深化、新規提携先の開拓、その他将来の成長と飛躍に必要となる投融資などさまざまな施策を検討し、それらに機動的に対応できるように、財務体質のさらなる改善に努めていきます。

また、世界最高の技術をもって社会に貢献するという企業理念に立ち、お客様や社会のニーズを先取りした新商品の開発を加速させ、各事業部門ともオンリーワン・ナンバーワン技術・商品の開発に引き続き取り組んでいきます。